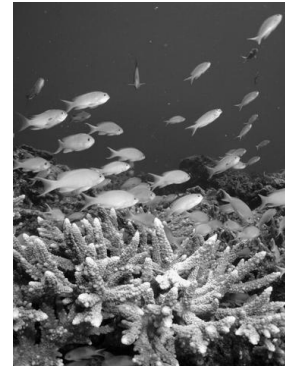


うみとなかよく通信

2007/11/18 Vol.01

国際サンゴ礁年2008にむけて・・・ 屋久島国際サンゴ礁年2008 実行委員会とは???

はじめまして。屋久島国際サンゴ礁年2008 実行委員会です。来年2008年は「国際サンゴ礁年」です。世界各国で様々な活動がまさに今準備されつつあります。ここ屋久島でも海洋生物研究会有志が、「屋久島国際サンゴ礁年2008 実行委員会」として名乗りを上げました。我々は、2008年、屋久島のみなさんとともに「サンゴ」をキーワードとして屋久島の海によりふかく関わっていきたいと思います。



そこで・・・

* 子供達に向けた「お話し会」の開催、この「うみとなかよく通信」の発行などをつづじて、海とのかかわりについての情報を発信します

* 多くの大人や子供達と、実際に屋久島の海で一緒に遊んで学びたいと考えます

* サンゴ礁年のパネル展示を島内各所でおこないたいと考えます

すべてを実現できるかどうかはまだわかりませんが、他にもやりたいことは山盛りです。

ついては、みなさんの実行委員会への参加もお待ちしております。国際サンゴ礁年のイベントや事務等のお手伝い、サンゴ礁年にこんなことをしてみたいという企画のあるかた。よくわかんないけどとにかく積極的に参加してみたいなど、そんな方はぜひ実行委員会への参加をお願いいたします

～海洋生物研究会とは～ 1991年に屋久島の海の記録しようと海好きの有志が集まり結成されました。以降、海洋生物の調査、文化村財団の海辺の生物図鑑作成などの活動をおこない、現在は、環境省のサンゴのモニタリング調査の委託などを受けて、海洋環境の保全活動に取り組んでいます。

サンゴ礁モニタリング・リーダー養成講座

リーフチェックは、世界規模のサンゴ礁モニタリングプログラムです。

サンゴ礁を持続的に利用するために、サンゴ礁の健康状態に関するデータを収集しています。レジャーダイバー・地元の方々が中心となり、科学者のサポートにより科学的に価値の高い調査を行っています。日本でも1997年から実施されており、現在では20～30のリーフチェックチームが活動しています。リーフチェックを開催するためには、サンゴ礁モニタリング・リーダーが必要で、今回の講座はサンゴ礁モニタリング・リーダーを養成する講座です。

今回は、「日本財団」助成事業のため、参加費10000円で参加できます。このような機会はめったにありませんので、是非この機会にサンゴ礁モニタリング・リーダーの資格を取り、リーフチェックを屋久島で継続していきましょう。

また、一般ダイバーとして、リーフチェック12月1・2日のみの参加も可能です。その場合、参加費は15,000円になります。



月日 11/29日(木)～12月2日(日)

場所 鹿児島県屋久島 離島開発総合センター

参加資格 要ダイビングライセンス 年齢12歳以上

費用 10,000円(座学、海洋実習3ダイブ(RC含))

* 宿泊、食事等は含みません

申込 宮本(miyamoto@coralnetwork.jp)

* お問い合わせも宮本まで

日程 11月29日 10:00～17:00 @離島開発総合センター 魚類・無脊椎生物講座

11月30日 10:00～17:00 @離島開発総合センター サンゴ・調査方法講座

12月1日 10:00～15:00 @RC 調査地(未定) 海洋実習(1ダイブ)

19:30～21:30 @離島開発総合センター 講義実習

12月2日 9:00～17:00 海洋実習(RC2ダイブ) @RC 調査地(未定)

講師 宮本育昌(コーラル・ネットワーク)、他

主催 講座:コーラル・ネットワーク

RC:コーラル・ネットワーク、屋久島海洋生物研究会



サンゴを食べるオヒトデ

志戸子、一湊の子供達に向けてサンゴのお話し会をおこないました

子供たちに海のこともっと知ってもらいたい…。そんな想いから暖めていたお話し会が、ついに始動しました。今年は志戸子と一湊の子供達に、そして東京から実習に来ていた専門学校の学生さん達にも、来年のサンゴ礁年にちなみ(?) サンゴとかかわりの深い「コブシメ」をテーマにお話しをしてきました。一時間～一時間半程度のお話ですが、ほんの目の前の海のことで、知らないことが沢山あるようで、子供達、そして後ろで聞いていた大人のかたがたも、目を輝かせながら参加してくれた姿が印象的でした。

お話し会に参加してくれた友達からは、「自分も海に入ってみたくなった。屋久島の志戸子以外の海も見たい」「イカがお見合いして卵を産むなんてびっくり、ブダイやエイ、カニやウミヘビなど他にもたくさんの生き物を見てみたい」「お話し会があつという間だったし、もうちょっと映像を見たかった」「コブシメオスの体がケンカするときはブツブツになったりプロポーズするときはツルツルになったりとその変化が面白かった」など、嬉しい

感想を聞かせていただきました。

そして保護者の方からは、

「今の子供達は学校が終わっても何かと忙しく、昔に比べ海に遊びに出る機会がほとんどない。しかも、海で遊んだことがある親でないと子供をつれていくことは中々難しい」「テレビなどの映像で水中を見る機会は多いが今回使った映像は実際に自分たちの身近な海で撮影されたものだという事に感銘を受けた」というご意見もいただきました。



～コメントをいただいた「竹之内 保さん」「七海ちゃん」「悠誠くん」「佐藤 明了さん」「泰了くん」「吾子ちゃん」どうもありがとうございました～

お話し会は、継続的におこなっていく予定です。子ども会、教育機関などご希望がありましたら、お気軽にお問合わせください。

10月30日にコーラルウォッチ講習会がおこなわれました

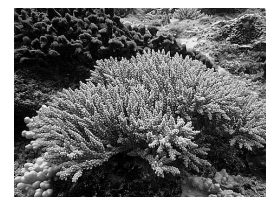
「コーラルウォッチ CoralWatch」は、オーストラリアの大学で開発された、市民参加型のサンゴ礁白化のモニタリングプログラムです。ダイビングやスノーケリング、あるいは海岸の散策がてらでも気軽に取り組むこともできます。

屋久島では10月30日に入川暁之さん(琉球さんご君)、古瀬浩史さん(自然教育研究センター)を講師に迎え、事前に屋久島の海を実際に見ていただいたうえで、日本のサンゴ礁の現状そしてコーラルウォッチの紹介と活用方法などを話していただきました。

コーラルウォッチはサンゴの体色を見ることによる、とにかく誰にでもできる簡単な「サンゴの健康診断」。サンゴに関する調査は様々な手法がありますが、この調査はとにかく敷居を低くし、海に惹かれた人たちが気軽に、そして、より深くサンゴ礁という生態系への興味を導く…。その為の「きっかけ」になりうるものです。

今年は沖縄県石垣島の小学生たちが授業の一環としておこなった調査において、夏前(サンゴ元気)～夏(サンゴ弱る)～秋(サンゴ復活)までと、サンゴの健康状態の変化を記録した!という画期的な出来事もありました。

このプログラムはダイバーはもちろん、潮間帯でもサンゴが観察できる場所であれば、歩きながらできるのが大きなポイントです。屋久島でもできそうな場所があり、実施に向けて準備、調査をおこなっています。



発行者 国際サンゴ礁年2008 屋久島実行委員会
事務局 屋久島海洋生物研究会
連絡先 屋久島野外活動総合センター 42-0944
屋久島マリンサービスYMS 49-4380